



事業実績報告書

様式 2

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-27	講座名	放射線・放射能のことを知り測ってみる
記載日	2022/7/29	団体名・企業名	未来につなげる東海ネット・市民放射能測センター
〈講座全体の概要〉(300字程度)			
<p>まずは放射能・放射線の基礎知識を学び、無味無臭の放射線を霧箱で可視化することを実験しました。またCラボにある5種類の放射能分析装置の各々の特性を知り、そのうち3つの測定器で実際に屋外で測ってみました。また歩行するだけで汚染マップが制作できるホットスポットファインダー（GPS搭載のHSF）を使い、実際に家の周りを歩いて測りました。最後に28の市民放射能測定所が参加した土壌放射能測定結果と、解説のテキストやマップを読み解くワークショップをしました。</p>			
			
※写真1の説明		※写真2の説明	
<p>第一回4月17日 Cラボにて放射線が見えてきた霧箱を覗き込む受講者</p>		<p>第二回5月22日 CラボにてNaI分析装置の原理の説明を聞いている受講者</p>	
〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)			
<p>フレッシュ枠で初めての環境大学講座でしたので、受付や時間の割り振りなど上手く出来なかったことが反省点です。開けてみれば10人ほどの申し込みがあり、皆さん環境大学の常連さんだったのには驚きました。四回の講座では放射線が可視化できる霧箱実習や、5種類の測定器の紹介と、3種類の測定器で実際に屋外で測ってみるという実習経験をしてもらいました。難しい計算式や解説もありましたが、実習は理科の実験のようだと好評でした。認知度が低いと思っていた市民放射能測定所でしたが、これを機会に知ってもらいたい。また昨今の状況から原発や放射能についてわからないことがあれば、参加しやすい環境大学の講座を利用して知ってもらいたいと思います。</p>			
〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉			
<p>40年ぶりに計測器を扱ったが、そのデジタル化への変化に感心した。実際測ってみるのは楽しかった。意外な所が線量が高かった。霧箱で放射線の飛跡がしっかり確認できて楽しかった。理科で習ったことが実際出てきて復習になった。内容は難しかったが、解説がたくさんあったので理解できた。ホットスポット探しがとても楽しかったです。福島にまた行きたいと思います。実地学習はやっぱ面白いですね。</p>			